

トコジラミ

静岡県立静岡がんセンター 感染症内科 倉井華子

海外へ渡航する日本人も増えてきました。リーズナブルな宿には時にトコジラミがいます。経験がある方はわかりますが、トコジラミは独特なおいがします。そして吸血されるとひたすらかゆくなります。トコジラミはシラミと名がつきますが、カメムシ目に属する昆虫であり独特なおいがします。慣れている方は部屋に入った途端にカメムシがいるか匂いでわかるそうです。俗名として南京虫や bed bug とも呼ばれます。卵からかえった幼虫は5回脱皮して成虫になります。成虫の大きさは 5-8mm で茶褐色の扁平な形をしています(図1)。夜行性で昼間はベッドや壁紙の隙間などに潜み、夜になると呼気に含まれる炭酸ガスを頼りに近寄ってきます。寒さや飢餓にも強く、吸血ができない状態でも成虫は 23°C 下で 2-3 か月、13°C 下で約 1 年、10°C 下で 2 年近く生存したとの報告もあります。

吸血されるとひたすらかゆく、夜も眠れないくらいの不快感を伴います。皮膚症状はトコジラミが吸血する際に注入する唾液腺物質によるアレルギー反応のため、過去にトコジラミに吸血されたことのない方では反応が出ません。吸血を繰り返すたびに少しずつ症状は強くなり、丘疹や紅斑が出てきます。布団や衣類から出ている手足や首などが刺されやすいようで、手首や足首に皮疹がみることが多いです。何度か場所を変えて刺すため、近い場所に並んだように丘疹がでるのを目にします(図2)。治療は軽症であれば外用ステロイド剤、掻痒感が強い場合は内服の抗ヒスタミン薬を用います。さらに刺され続けると脱感作され皮膚症状は減弱していきます。

近年国内でも宿泊施設でトコジラミの被害が広がっています。東京都におけるトコジラミの相談件数は 2008 年と比較するとこの数年は300件以上と5倍に増えています¹⁾。訪日外国人現象の影響か 2,020 年は少し減りましたが、今後また増加することが予想されます。ホテルや簡易宿泊施設などではトコジラミが増えやすく、2023 年にはフランスや韓国の簡易宿泊施設でトコジラミが大量発生しニュースにもなっています。災害時の避難所など多くの方が寝泊まりする場所ではリスクが高いといえます。

薬剤耐性の問題がトコジラミでも発生しています。殺虫剤の成分にはピレスロイド系、有機リン系、カーバメート系がありますが、即効性や人畜への影響が少ないことからピレスロイド系が主流です。米国でピレスロイド抵抗性のトコジラミの報告がされ、その後米国の広範囲な地域で耐性が確認されています²⁾。国内の調査も進められていますが、捕獲されたトコジラミの中にはピレスロイド系薬剤に抵抗をしめすものもあるようです³⁾。トコジラミは時に施設内アウトブレイクを起こします。発見した場合は患者の衣類やリネンの熱消毒とともに、専門業者へ調査と排除を依頼することをお勧めします。



図1 トコジラミ



図2 かゆみを伴う丘疹

文献

1) 東京都におけるねずみ・衛生害虫等相談状況調査結果(トコジラミ)

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kankyo//eisei/nezukon.html>

2) Romero A, et al.: Insecticide resistance in the bed bug: a factor in the pest's sudden resurgence? J Med Entomol. 2007 Mar;44(2):175-8. PMID: 17427684

3) 敷間亨. 各地で採取したトコジラミに対する各種殺虫剤の効力評価に関する基礎的検討.2014年.

<https://mhlw->

[grants.niph.go.jp/system/files/2013/131031/201305005A/201305005A0001.pdf](https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2013/131031/201305005A/201305005A0001.pdf)